

札幌北ロータリークラブ会報



2022-23年度スローガン
「今一度、人生の目的を考えてみる」
～当たり前ではない平和に感謝して～

2022年1月23日(月)12:30 第2281回例会

本日のプログラム

職業奉仕委員会担当
藤城英明会員・赤木道子会員・林孝幸様 卓話

会員誕生日祝

おりません

入会記念日祝

1/28 出村知佳子 会員
1/29 阿部弘 会員

♪「奉仕の理想」

前回例会記録 2280回 1月16日(月)12:30



荻輪 隆宏 会長

【司 会】 荻輪 隆宏 会長
【ビジター】 おりません
【ゲスト】 おりません

1/16 出席報告

会員数	出席	欠席	除外	MU	%
37	27	10	0	---	73

会長報告

- 本日より、ロイトン札幌さんでの例会がスタート致しました。
- 黒川篤 会員・・PHF+7 認証ピンのお渡しです。



委員会報告

- ◆会計(出村委員長)・・下期会費納入のご案内
- ◆クラブ情報委員会(雑誌担当真室会員)・・ロータリーの友の見どころ、読みどころのご紹介



ニコニコBOX

- ☺ **出村知佳子会員**：本日のロイトンでの初例会、小林博先生の卓話を楽しみにしています。ニコニコです。
- ☺ **黒川篤会員**：あけましておめでとうございます。過日、年末親睦家族会が行われました。私の右目の上が腫れていたことはご愛敬ですが、クラブ奉仕委員の皆様のご尽力により素晴らしい会になり

ご参加の会員・ご家族・ゲストの皆様喜んでいただけたものと確信しております。あと半年、委員会活動が残っております。クラブ奉仕委員会一同、北クラブに貢献できるよう頑張っております。今年もよろしくお願いいたします。

☺ **竹原巖会員**：皆様、健やかな新年をお迎えしましたでしょうか。私にとって去年は荻輪会長のテーマ「人生を今一度考える」をじっくりと思いやる昨年になりました。

☺ **荻輪隆宏会員**：新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願いします。この度はロイトン札幌さん、この大変な中例会場を引き受けて下さりほんとうにありがとうございます。

☺ **姫野芳安会員**：新年明けましておめでとうございます。本日からロイトン札幌様での初めての通常例会ですね。ロイトンさん、よろしくお願い致します。本日の年男の弁、小林先生のお話楽しみです。ニコニコします。

☺ **瀧澤隆之介会員**：皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。今年は 1/20 札幌弁護士会副会長に立候補する予定です。旧年中、常議員会副議長という役をしており、ご迷惑をおかけしているところですが、仮に選任される場合、会務の関係で令和5年

中はロータリーの皆様にもご迷惑おかけする場面もあると思いますがどうぞよろしくお願い致します。

◎ **佐々木仕会員**：2023年1回目の例会、本日よりロイトン札幌様に御世話になります。よろしくお願い致します。年末年始、3年ぶりに子供達が帰省し、にぎやかに過ごしました。が、少々疲れしました。それぞれ健康で一年過ごして欲しいと思った正月でした。

◎ **斉藤昌一会員**：新年あけましてお目出とうございます。年末年始より、コロナ禍前と変わらない旅行者の往来となりました。私も目をさます時となりました。今年もよろしくお願い致します。

◎ **中園直樹会員**：2023年も、親しくお付き合い下さい。新年の挨拶にかえて。

◎ **林里紅会員**：皆さま、本年も宜しくよろしくお願い致します。ロイトン札幌の皆さま、会場移転に伴い、多大なるご協力を頂きましてありがとうございました。未永くよろしくお願い致します。

◎ **相沢美束会員**：本年は良い年でありますように。転ばないように注意します。皆様も雪道には御注意下さいますように！！

◎ **栗原清昭会員**：明けましておめでとうございます。ロイトンさんでの記念すべき例会開催もおめでとうございます。

◎ **鈴木隆也会員**：会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年からロイトンさんでお世話になる最初の例会ということで、残りの年度もSAAとして気持ちを引き締めていきたいと思っております。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

◎ **吉井千博会員**：皆様、あけましておめでとうございます。小林先生の年男の弁、楽しみでニコニコです。

◎ **若狭博徳会員**：明けましておめでとうございます。昨年末、疫病に罹患した為、年末家族会に参加できませんでした。本日より新たな会場での例会が始まります。これからを楽しみに参加してまいります。

◎ **真室潤一会員**：皆様、明けましておめでとうございます。今年も頑張ってロータリーの友をご紹介したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

◎ **青山雅彦会員**：本日より通常例会会場がロイトン札幌に変更になりました。とても楽しみにしており、ワクワクしております。至らない所もあるかもしれませんが、その都度改善を行って、皆さまに満足いただける例会場に出来ればと思っております。これからよろしくお願い致します。

22-23年度 ニコニコBOX 合計金額

11月3回(内1回チャリティオークション)	¥60,000-
12月3回(年末親睦家族会含む)	¥93,000-
小計(2ヶ月)	¥153,000-
合計(6ヶ月)	¥636,000-

いつもたくさんのご寄付ありがとうございます◎

メインプログラム

会長年頭挨拶

会長 菱輪 隆宏



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては新年をお健やかに迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

本日はこのホテルロイトン札幌様での第一回目の例会です。色々な局面がございましたが、会員皆様の建設的なご意見そしてお理解ご協力で何とかこの日を迎えられたこと本当に有難い限りです。また、この厳しい現下、本クラブ例会を受けて下さいました青山総支配人(本クラブ会員)には改めて、深く感謝し心からお礼申し上げます。

加えて、長らく続くコロナ、そして戦争まさかの事態の中、ご自身のお仕事とロータリー活動を両立されておられる会員の皆様にも心から敬意を払わせて頂きます。

当たり前ではない今の平和に感謝し、会長スローガンに則り頑張る所存です。残り半年どうぞ宜しくお願い致します。

ロータリーの活性化

— ヒューマニズムを取り込む試案について



ロータリークラブは将来、どうあったらよいかということについて私なりの夢を少しお話をさせていただきたいと思います。

いままでのロータリー

20年前の札幌北ロータリークラブの会員名簿を見ました。在席59名。今も残っているのはわずか6名。つまりその間53名の方が退会されました。病気、転勤、高齢化などは止むを得ないものもありますが、「何となく」辞められた方々が少なくなかったように思います。

ロータリーを辞められたある会員が私にこう言っておりました。「ロータリーで何が良かったかといえば、思いがけないいろいろな人との出会いがあったこと。これが一番！ 終生の友人ともいえる人達との親しい関係を続けることが出来ました」というのでした。

「何かまずいことはなかったか」と聞きますと、その人は率直に人との出会いのあったほかは「余りためになることはなかった。いくらか退屈になってきたかな」。「例会に出席するための時間、労力、お金のことを考えると少し負担にもなって必ずしも満足できなかった」ともいわれるのでした。

またある人はロータリーを少しでも変えようと思って努力したが何も変わらない。空しいものを感じた、というより「失望した」といって退会されました。

それではどうしたらよいか？ 要は「退屈だ」「つまらない」というような批判に対しては、みんなの「ためになる」「退屈させない」クラブをつくれればいいのだと思います。

言っているだけでは始まりません。何か新しい具体案を出さなければなりません。

本題に入ります前に「例会のあり方」について率直に2つのお願いを申し上げます。
1つは例会における卓話の演者、テーマは十分に「厳選」するようにしていただきたい。出来れば2、3か月先の分まで早目に決められたらよいと思います。
2つめは例会の限られた1時間は可能な限り有意義、かつ有効に使うようにいろいろ工夫していただければと思います。

(以上の詳細は省略)

これからのロータリー

本題に入ります。いままでのロータリーの奉仕活動は主に自分以外の人、つまり他人、あるいは他の組織を対象にしていたように思います。それはロータリーの基本理念ですから結構なことと思います。

しかし、内なる自分に対しての人間性とかヒューマニズムへの関心が余りなかったように思います。このことについて本日は3つのことについて話させていただきます。

1) 慈愛のころ

ある年輩のロータリアンが先日私に「今までで一番感動した会長テーマはいまから20年前のRI会長のビチャイ・ラタクルさんの『慈愛の種を播こう』であった」というのです。

確かに「愛」の種を播くというような愛を語った会長はロータリーで初めてでしたので新鮮な印象を与えて下さいました。愛とは簡単にいえば人に対する「いたわりの心、やさしい心」のことです。

ある別の先輩ロータリアンは『『いたわりの心』こそがロータリーの真髄ではないか』
とっておられたことを思い出します。

ところが慈愛の種を播くのは簡単なようですが、実は大変なことなのです。この種を播くためには、まず「愛の種を播けるような人間にならなければならない」ということですから。厳しくいえば人間が少し変わらなければならないということでもあります。



ビチャイ・ラタクル会長
(ロータリーの友HPから)

話は変わって、いつか私は北クラブの例会で「健康」と「お金」と「愛」の3つのうち、どれか1つだけしか取ることが出来ない極限の状況を考えてとき、どれを取りますか、という難しい質問をして、みなさんに考えていただいたことがありました。

現実的に健康もお金も絶対になくしてはならない大事なものです。文句なしです。しかし究極的には、たとえば自らの死を間近にした人の回答は健康ではありません。またお金でもありません。ただ1つやさしい愛の心でした。

やさしい愛のころなんて普段あまり気にしていないのですが、追い詰められて初めて気付くことかも知れません。それが愛というものです。つまり愛の心が人間にとってもっとも基本的なもので、もっとも大事であるように思うのであります。

2) 感謝のころ

話は変わって、私は地下鉄によく乗りますが、地下鉄の乗り降りに不便をされる車いすの方がおられます。そういった方は予め連絡を受けた駅員が大きな板をもって待っていて、乗り降りに支障がないようにお手伝いをしてくれます。そのとき私は車いすの方から「ありがとう」という言葉を聞いたことがまずありません。なぜでしょうか？ 自分は身障者だからみんながお手伝いするのは当たり前と思っているのでしょうか。あるいは日本人は押しなべて「ありがとう」を言う習慣がないからなのでしょう。

考えさせられました。私達自身が人に対し感謝の「ありがとう」の言葉をどれだけ言っているか、あるいはつい忘れていないかと気になってきたのです。

私達は生まれてから親に育てられ、いま満足な生活を送っていることを当たり前のことと思っています。しかし考えてみますと、私達はどれだけ多くの人様のお世話になってきたか、そういったすべての人に対する感謝の「ありがとう」の言葉を決して忘れてはいけないと思います。「心のなかで思っているからいいではないか」ではいけません。相手の方にはっきりわかるように表現しなければなりません。

私達は海外にもいろいろな奉仕活動をしてきました。相手の方の喜ぶ姿を見るときに、彼らが喜び以上についてこちらも非常に大きな喜びを感じます。ですから当然「奉仕させていただけること」の喜びに対しても、やはり「ありがとう」の言葉があるべきかと思うのであります。

長い人生には幸せなこと、楽しいことばかりではありません。災難や試練もあり、これを自分だけに降りかかった災難、不運と考えがちです。しかしそうではありません。天なるものが与えてくれた試練をチャンスと受けとめたとき、ここにも感謝の「ありがとう」でしかありません。「ありがとう」と思って努力すれば、事はすべてうまくいくように思うのです。

3) 家庭へのころ

もう1つだけ申し上げます。いままでのロータリーは外向けのことが多かったと最初にお話いたしました。

たとえばロータリーの奉仕活動にしてもそうです。奉仕には職業奉仕、国際奉仕、社会奉仕があり、さらにクラブ奉仕があります。ところが、内向きのこと、例えばわが家の家庭、家族に対する奉仕というものはありませんでした。なぜでしょうか？ 照れくさい、あるいは遠慮しているのでしょうか？

ロータリーは「外面ばかり良くてね」という皮肉な言葉を何度か耳にしたことがありました。他人のこ

とを考えるばかりに、身内のこと、あるいは身近なことがつい疎かになっていたのかも知れません。

でも、この際わが身のこと、あるいは家庭のことに立ち戻って考えてみてもよいのではないのでしょうか。

以上のように考えますと、家庭奉仕こそが本来、すべてのロータリー活動の「出発点」、あるいは「原点」としてもいいのではないかとさえ思うのです。

率直に申し上げ、ご自分の家庭を無視してまで他人へ奉仕することは「超我の奉仕」といって最高に理想的なものかも知れません。しかし、これはかなり自己犠牲的で大きな無理があるのでないかと思えます。

やはりご自分の家庭に十分な奉仕をしたあと、それから他人への奉仕であるべきと考えるのがむしろ自然体ではないかと私は考えます。

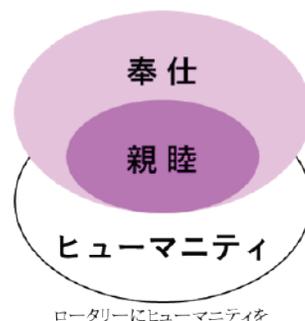
4) 内向きの3つのこと

以上の3つのこと。「慈愛の種を播く」「感謝のありがとうをいう」「家庭への奉仕」についてお話ししました。

少なくとも今日述べた3つのことをまとめますと、ロータリーは従来の「外」に対する奉仕だけではなく、「内」なるものに対する奉仕にもっと「大きな期待と責任、そして自信を持って」取り組んでいっていいのではないかと、ということ。その根底にあるものは一言でいえばロータリーに「ヒューマニズム」の心を大胆に取り入れるということになります。

そんなことはロータリーの「目的」とか「定義」に書かれていないことだから、やる必要ないと受け止める人もいるかも知れません。書いていないからやってはいけないではなく、書いていなくてもやったらいいと思うことはやっていいことではないのでしょうか。

つまり「ロータリーは親睦と奉仕ではありますが、それだけの団体ではありません。ロータリーは人間性豊かなヒューマニティあふれるヒトを育てるところ」「人格形成の場でもあります」。「ロータリーにはそういうことを教えてくれる立派なロータリアンがたくさんおられます」といわれるようになったらいいのではないのでしょうか。



おわりに

以上、今日の話はやや抽象的でまだまだ具体的にどうしたらよいかということまでは申し上げておりません。とにかく、ただ私の申し上げたかったことはロータリーは「ヒューマニティ」とか、「人間性豊かなヒト」を育てることを新たな目標として加えていけば、ロータリーはもっともっと善くなっていく、あるいは「ためになる」ものになっていくのではないかと期待したいのであります。

いままでのロータリーは枠にはまって少々固いイメージのものがあつたかと思えます。そういったことに捉われることなく、少しは自由に、各地区、各クラブに独自のものを作っていいのではないかと思うわけであります。

いずれにしても、みなさんと率直に意見交換を重ねながら、ロータリーを少しでも活性化したいと思い、その一案を紹介させていただきました。有難うございました。

質 問

Q1. 竹原巖 会員

ごもっともなご指摘、有難うございました。そのなかでも私は「家庭奉仕」こそがもっとも大切なことではないかと考えております。クラブとして「家庭奉仕委員会」なるものを作っては如何かと敢えて提案させていただきます。

A1.

地区でかつて家庭奉仕委員会を作ったことがありましたが、ロータリーの綱領にはないということでいつの間にかボツになってしまいました。私自身、現在老々介護の身ですが、家庭奉仕あってこそそのロータリー活動だと思っております。

Q2. 中園直樹 会員

私は国内外、主に道外のいくつかのロータリークラブを見てきましたが、札幌北ロータリークラブは、そのなかでも大変よく出来たクラブだと思います。出来たら卓話の然るべき演者はもっと自由に前もって選択したらよいかも知れませんね。

A2.

ごもっともです。必ずしも〇〇月間に捉われず、そのときみんながもっとも聞きたがっている人とテーマを早めに決めておくことも大切かと思います。



人間は
「愛の言葉で」やさしさを知り
「感謝の言葉で」礼節を知り
「家庭の奉仕で」幸せを知る

小林
博

会務報告

①次週例会は職業奉仕委員会担当例会です。皆様のご出席宜しくお願い致します。

北クラブ情報

例会日 毎週月曜日 12:30

例会場 ロイトン札幌



札幌北RCホームページ
<http://www.sapporo-north.jp/>

- * 1月30日(月) 第3回クラブ協議会
- * 2月6日(月) **休会(建国記念の日の週のため)**
- * 2月13日(月) 米山記念奨学委員会担当 会員卓話
- * 2月20日(月) **休会(天皇誕生日の週のため)**

他クラブ予定表

24日(火)

札幌西 NPO 法人あえりあ代表 高橋氏 卓話
はまなす 会員卓話
札幌清田 クラブフォーラム
大通公園 なし

26日(木)

札幌東 塚原房樹パストガバナー 卓話
札幌西北 年男・年女の弁

28日(土)

札幌手稲 線下移動例会「中学校スポーツ大会」※受付あり

25日(水)

モーニング 移動例会「新春夜間例会」※受付なし
札幌 前地区職業奉仕委員長 玉井清治氏 卓話
真駒内 年男の弁
新札幌 職業奉仕委員会 大石委員長 卓話

27日(金)

札幌幌南 定例夜間例会

30日(月)

札幌南 【夜間】新春家族会

※予定は変更になる可能性があります。また、ビジターで他クラブへ行かれる際はご連絡が必要な場合があります。※